

# お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	ディープラーニングを用いた重症新生児仮死の早期予後予測システムの開発
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2027年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 新生児低酸素性虚血性脳症と診断または疑われ、2014年1月1日から2021年12月31日までに鹿児島市立病院 新生児内科に入院した方 ただし、既にカルテ情報利用を承諾されていない患者のデータは使用しません。
使用する情報等	児の情報：在胎週、出生体重、低酸素性虚血性脳症に関連する情報（アプガースコア、Thompsonスコア、Sarnatスコア）、血液検査結果、画像（分娩前胎児心拍モニタ、来院時頭部CT）、予後に関連する情報（発達指数） 等 母体情報：妊娠歴、合併症、基礎疾患 等
研究の概要	新生児低酸素性虚血性脳症(HIE)は新生児期に起きる脳の低酸素や循環不全によって引き起こされ、長期的な神経学的合併症や重篤な場合には死亡することもある症候群である。低体温療法を生後6時間以内に開始することで死亡や神経学的後遺症のリスクを減らすことが報告されている。また、生後6時間を超えて開始された低体温療法では効果が不確実だと報告されている。このため、HIEの診療では早期に予後を判定し治療を開始する判断が求められる。 現状では低体温療法開始前の早いタイミングで、評価者によるばらつきが少なく、正確に神経発達予後を予測するシステムはまだ確立されていないと考えられる。 本研究は、深層学習を取り入れた予後予測モデルを構築することを目的としている。本研究で予測に使うデータは入院時点で入手可能な値のみを用いるため、従来よりも早いタイミングでの予後予測が可能となり、治療決定を早める可能性がある。 予後予測モデルを構築することができれば、現場の医師を支援し、治療方針の決定に貢献できる可能性がある。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	使用する情報は、対象者が特定できないように、個人を識別することができる記述を削除して保存し、対応表は作成しません。この研究によって得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用しません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。

お問い合わせ先・ 相談窓口	<p>病院ホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。</p> <p>なお、既に解析・発表公開後のデータ等については、その方のデータ削除の措置が困難になる場合があります。</p> <p>研究への使用の拒否の意思を表明されても、鹿児島市立病院における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。</p>
	<p><b>研究責任者</b> 氏名：木部 匡哉                      所属：新生児内科</p> <p>連絡先：鹿児島市立病院</p> <p>〒890-8760 鹿児島市上荒田町37番1号</p> <p>TEL：099-230-7000（代表） FAX：099-230-7111</p>